

# 祭典ニュース

発行  
2024日本のうたごえ佐賀祭典実行委員会  
宣伝広報委員会

## 第一回実行委員会開催

二〇二三年八月五日、佐賀市神野公民館において、日本のうたごえ全国協議会の渡辺副会長、九州のうたごえ連絡会の森川議長、堤事務局長をはじめ県内外関連団体の実行委員参加のもと、日本のうたごえ祭典「佐賀の第一回実行委員会」が開催されました。

冒頭、佐賀のうたごえ協議会の松田会長から歓迎のあいさつと佐賀開催に至った経緯等を述べた後参加者の自己紹介、全国協の渡辺副会長による日本のうたごえ祭典の概要説明が行われました。



第1回実行委員会会場風景

その後、岩永事務局長が実行委員会規約、同体制等提出議案の説明を行い、質疑応答を経て、実行委員長として畑山敏夫氏、野中宏樹氏を選出、松田運営委員長以下

の運営委員を選出しました。なお、実行委員長及び運営委員以外の議案は継続審議となりました。

質疑の中で、「チケットの価格設定をどう考えているのか」「宿泊施設の確保問題」「アリーナまでの交通手段」「祭典目標、規模、財政的裏付けなど、大まかな方向性を示して欲しい」「役職の兼務は避けた方がいい」「ホテルの確保と県補助金等の活用を」などの意見のほか「佐賀はオスプレイの問題を抱えている。何が何でも平和の祭典にすべきだ」「女声合唱で「いのちをうたおう」を歌いたい」「単なるイベントではなく運動としてとらえるべき」などの意見が出ました。これに対し、事務局からチケットは三千円から三千五百円くらいを想定、宿泊施設については県内各地の施設を活用、

### 岸三樹さんからのメッセージ

二〇二四年日本のうたごえ佐賀県開催まで、いよいよあと一年になりました。来年佐賀県開催のため、八月五日に二〇二

四年日本のうたごえ佐賀県開催を成功させるため、佐賀県実行委員会が開催されること、平和を求める被爆地長崎から熱い連帯の挨拶を送ります。あと一年の佐賀県でのうたごえ運動強化が今よりも求められています。この実行委員会結成会議がしっかりとしたその意思統一の

場になることを心から期待しています。岸田政権が戦争準備のため大軍拡増税を計画している現在、平和を求め佐賀でのうたごえ運動は重要な役割を持っています。佐賀での平和のうたごえ発展に大きく期待しています。

二〇二三年八月一日

### 今後の予定

- 11/27(月) 西部地区実行委員会
- 12/ 2(土) 事業委員会
- 12/ 3(日) 運営委員会
- 12/ 8(日) 平和行動
- 12/16(土) 第2回実行委員会
- 12/18(月) うた新拡大委員会
- 12/19(火) 組織委員会
- 12/23(土) 伊万里うた喚
- 2/23(金) 日うた協全国総会

「いのちをうたおう」はぜひ歌いたいなどの回答がありました。最後に記念撮影をして、第一回実行委員会を無事終了しました。

### 松田運営委員長挨拶要旨

日本のうたごえ祭典佐賀開催の話が来て五年、佐賀アリーナができる等の日本のうたごえ祭典開催

北海道祭典引継ぎ式

(引継ぎ式で挨拶する松田会長)

八月二十七日、日うた北海道祭典最終日の特別音楽会終了後、北海道から佐賀に引継ぎ継ぐセレモニーが行われ、佐賀の長から全国の仲間へ来年の佐賀開催を宣言しました。

に向けた環境が整い、ここに第一回実行委員会開催の日を迎えることが出来た。日うた佐賀祭典は二〇二四年十一月二十九日から十二月一日までの三日間、佐賀アリーナと佐賀市文化会館を中心に実施。今、世界の情勢を見ていると、戦争の危機が日に日に迫っているのを感じる。また、地元佐賀には有明再生、原発、オスプレイの三つの闘いを抱えている。このような時に日本のうたごえ祭典を佐賀でやるという事の意味の深さと、やることの大切さ、そういうのを感じている。今日出席された皆さまの力を借りながら、一緒に歌ったり訴えたりして、来年の「日本のうたごえ祭典in佐賀」をみんなで感動し、喜び合い、そして確信を持って明日の日本・明日の佐賀を支えていけるような素晴らしい祭典を開催したい。



## 各委員会からの報告

### ◎運営委員会

「2024日本のおたごえ祭典in佐賀」のキックオフ集会となった第1回実行委員会には、おたごえの仲間プラスぜひ力を貸していただきたい民主団体7団体を含めて28人の方たちに参加していただきました。  
今日本は戦争か平和の綱引き本勝負をしている状態だと思えます。佐賀にはオスプレイも軍事基地もない！参加者の皆様の温かい眼差しと励ましを受け「音楽の力」を信じ、今の世の中に一石を投げられるような「勇気と希望」の祭典になるようにと、新たなる決意の一日となりました。

### ◎企画委員会

これまで、協議会のメンバーとの2回の佐賀祭典で何をしたいかという「夢を語る会」を経て企画委員会を9回、九州おたごえ連絡協議会・全国おたごえ協議会のアドバイスを受けながら企画の内容を協議してきました。  
主な内容は、1日目、文化会館での特別音楽会。ウクライナ出身のオペラ歌手の独唱や県関係若手音楽家4名による演奏会。2日目は、佐賀アリーナでの大音楽会。全国合同の荒木栄特集や九州合同の平和の旅へ、その他キッズ、若者、女性、シニア数百人の大合唱が会場に響き渡る大合唱の連続です。お客様と出演者が共に楽しめるステージ作りを目指していきます。

### ◎組織委員会

第1回組織委員会(7/22)を開き、「日おたごえ祭典in佐賀」を成功させるために組織委員会の体制づくり、主な活動を確めました。まずは、「呼び掛け人100名を目指そう」(現在35名)に向け、候補者を出し了解を取っていくことです。次に、チケット収入までの大切な活動資金となる賛同金を県内で300万円の目標をたてやり遂げることです。この二つのことを年内にやり遂げられるよう具体的な目標、活動を決めます。

### ◎事業委員会

現在まで計7回の委員会と2回の発送作業、2ヶ所(九うた阿蘇、日おたごえ北海道)での事業物販売と1回の委託販売(北海道)を行ってきました。  
現在、佐賀祭典Tシャツをはじめとして7種類の事業物を販売しています。  
仕入れ先の発掘・価格交渉・購入等を複数人で担当を決めて進めてきました。交渉も販売も宣伝ポップもそれぞれに工夫をしてにぎやかに協力して取り組んでいるところです。

### ◎宣伝広報委員会

9月14日第1回日おたごえ佐賀広報宣伝委員会を開催し、会の進め方、宣伝広報体制と役割分担、今後のスケジュール等について協議した。この中で祭典ちらしの増刷、プレ企画用ちらしの作成、合同ステージ団員募集用ちらし、チケット販売用ちらしや告知ポスター、本番用ポスターの作成と祭典ニュースの発行、ホームページ運営等のスケジュールを確認した。委員数が少ないため各合唱団からの積極的参加を求めます。

### ◎財政委員会

9月末現在の財政状況は、収入2,258千円、支出1,437千円、残額821千円。  
収入の主なものは借入金1,760千円、事業売上469千円、支出の主なものは事業物購入708千円(協議会員配布Tシャツ代含む)、事務所経費191千円、事務局経費384千円となっている。

### ◎おたごえ新拡大委員会

3月の全国協総会終了後123部でスタート、200部を目標として、「おたごえ新1ヵ月無料キャンペーン」を実施中。現在141部になっています。北海道祭典終了後増加傾向が見られますが、部数拡大に関わっている人は12人なので、残り約40人の積極的取り組みをお願いします。